



JASDAQ 証券コード：2927

健康食品・化粧品のおEM(受託製造)、委託メーカー

株式会社 **アムスライフサイエンス**

平成21年8月期 株主総会用資料

(平成20年9月1日～平成21年8月31日)



美と健康を創造する
アムスライフGROUP
JASDAQ 証券コード：2927

www.ams-life.com

AMS Life Science Co., Ltd.



決算概要





連結 決算の状況

連結 業績比較表 (直近3期間)

(百万円)

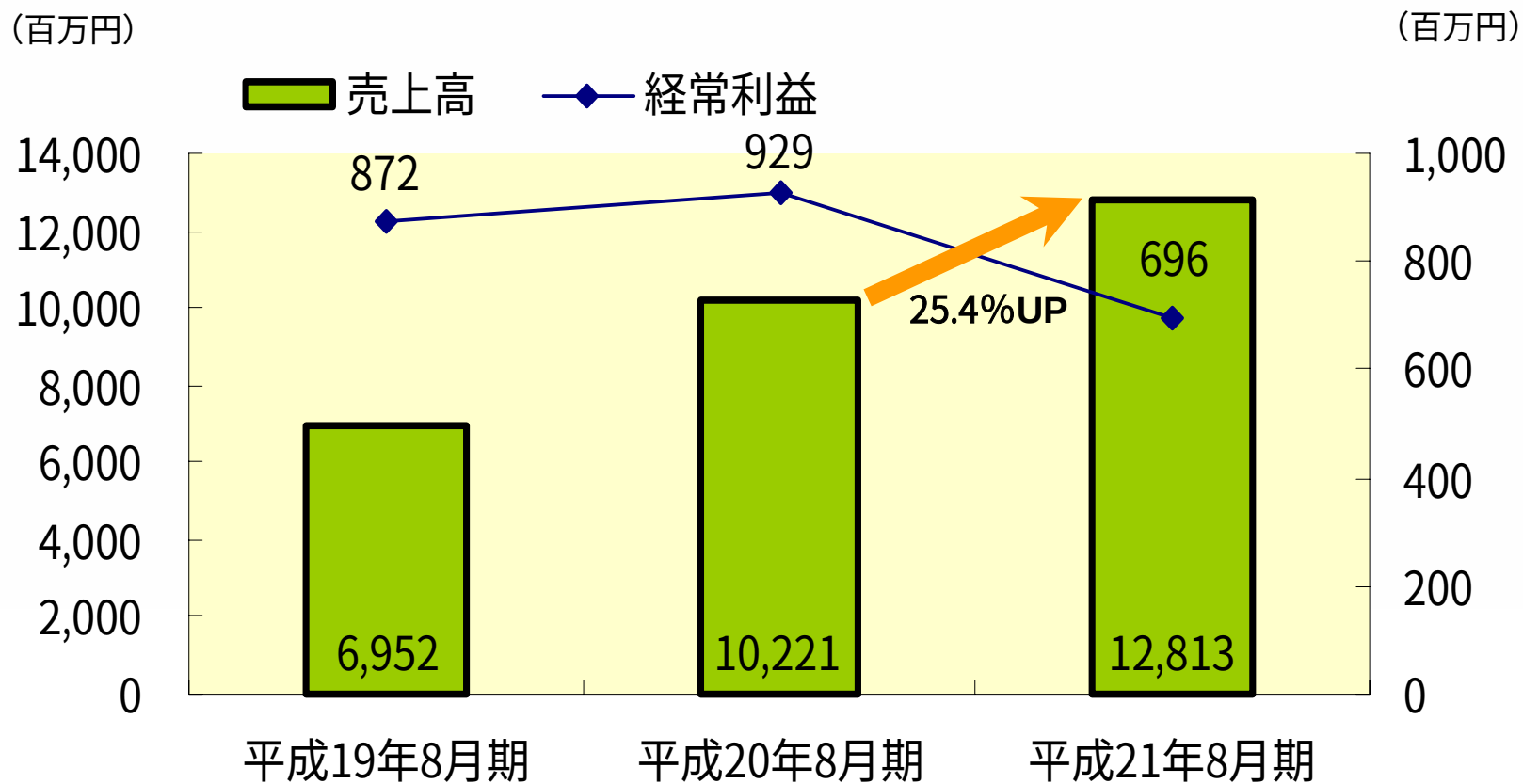
連結	平成19年 8月期	平成20年 8月期	平成21年 8月期計画	平成21年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	6,952	10,221	13,000	12,813	25.4%
営業利益	643	849	700	737	△13.2%
経常利益	872	929	650	696	△25.1%
当期純利益	484	354	160	129	△63.4%
経常利益率	12.5%	9.0%	5.0%	5.2%	-

増減率は、平成20年8月期に対する率です。

※減益要因は、M & Aによる取得企業の固定費の増加及びのれん代の償却の増加であります。また、当期純利益の減益要因には、投資有価証券売却損234百万円を特別損失に計上した影響が加わっています。



連結 業績推移





連結 資産の状況

- ◆資産の合計は前期に比べ9億8千万円増加し、132億8千3百万円となりました。
主な増加の要因は、期末時点の現金預金が増加したほか、新たに(株)AFCもりやを連結に組み入れたことによるものです。
- ◆負債の合計は前期に比べ10億6千8百万円増加し、82億3千万円となりました。
主な増加要因は、設備資金、M & A 資金調達により、社債及び借入金が増加したものです。
- ◆純資産の合計は前期に比べ8千7百万円減少し、50億5千3百万円となりました。
主な減少要因は、当期純利益を計上したものの、配当金の支払いや自己株取得によるものです。

(百万円)

連 結	平成20年 8 月期	平成21年 8 月期	対前期増減
資産合計	12,302	13,283	980
負債合計	7,161	8,230	1,068
純資産	5,141	5,053	△87



単体 決算の状況

単体 業績比較表 (直近3期間)

(百万円)

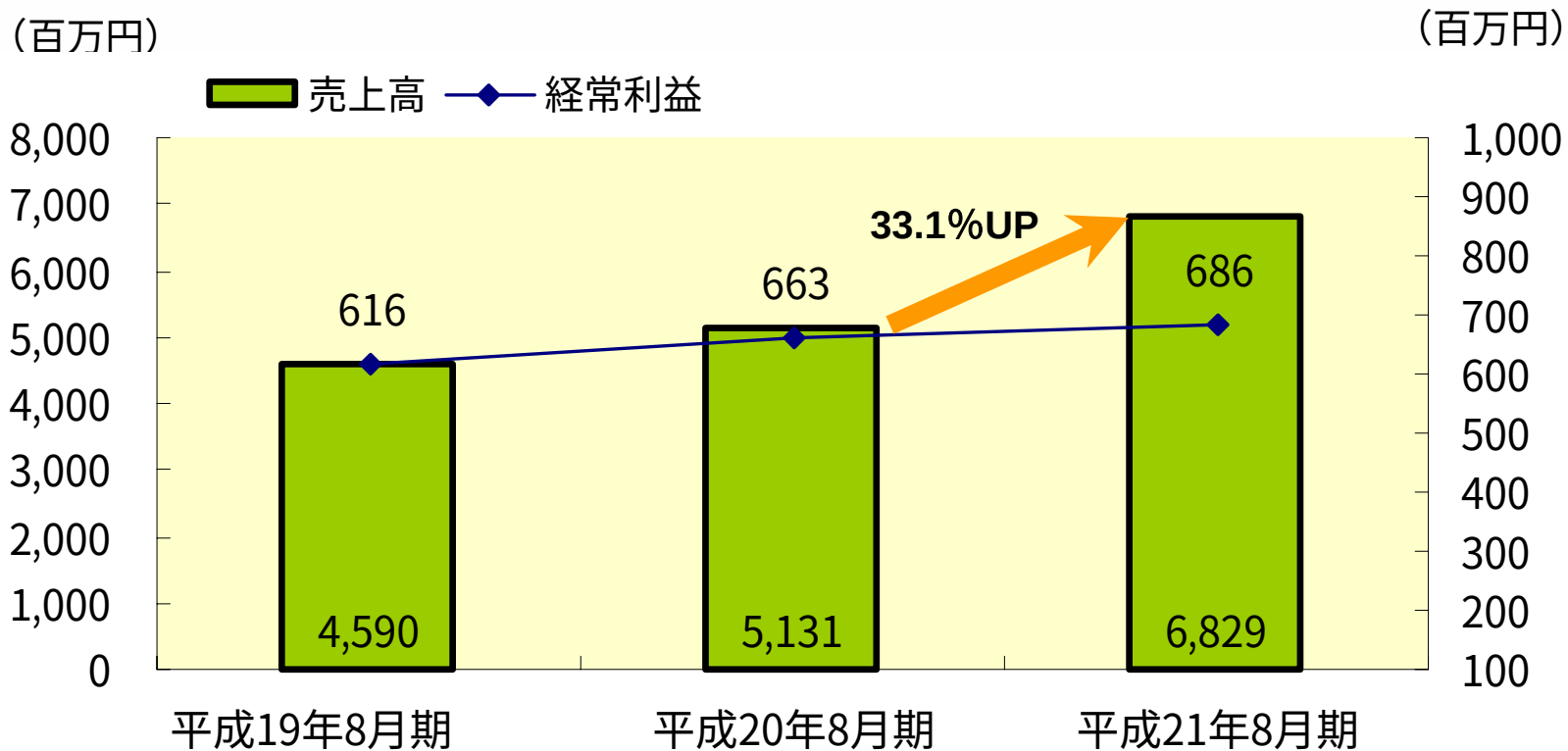
単体	平成19年 8月期	平成20年 8月期	平成21年 8月期計画	平成21年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	4,590	5,131	6,000	6,829	33.1%
営業利益	386	581	600	716	23.4%
経常利益	616	663	570	686	3.5%
当期純利益	377	359	140	165	△54.1%
経常利益率	13.4%	12.9%	9.5 %	9.9%	-

増減率は、平成20年8月期に対する率です。

※当期純利益の減益要因は、投資有価証券売却損234百万円を特別損失として計上したことにあります。



単体 業績推移





第29期総括 (平成20年9月～平成21年8月)

【増収要因】

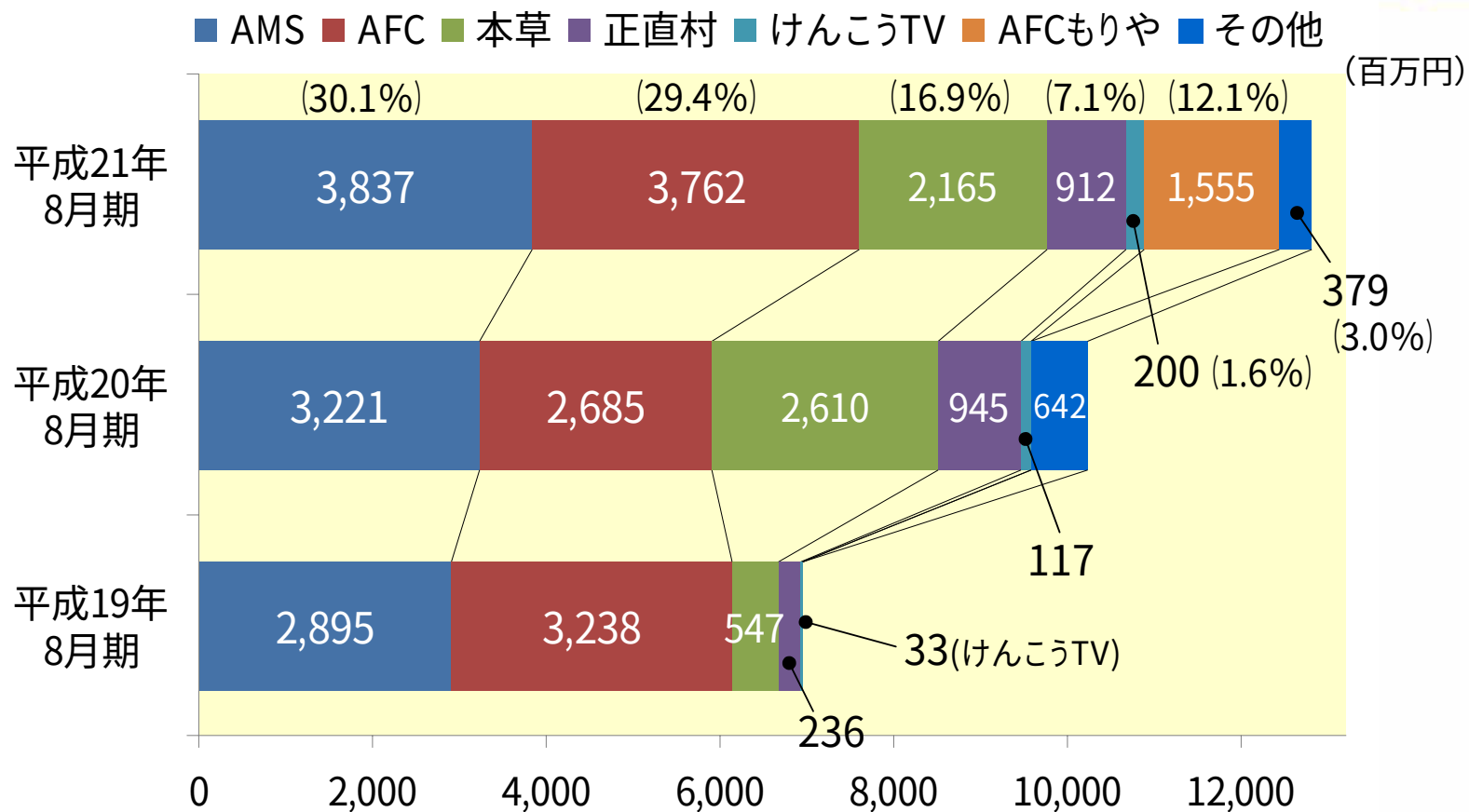
- ◆ M & A による効果
- ◆ OEM部門の好調

【減益要因】

- ◆ 投資有価証券を売却し、投資有価証券売却損234百万円を特別損失に計上
- ◆ 積極的な広告宣伝を行ったことによる広告費の増加
- ◆ M & A による取得企業の固定費増加



グループ売上構成比



カッコ内のパーセンテージは、売上構成比率です。

アムスグループ

平成22年3月1日 株式会社AFC・HDアムスライフサイエンスへ商号変更予定

健康食品・化粧品
 の受託総合OEMメーカー

(株)アムスライフサイエンス

健康食品・化粧品の研究・開発

(株)日本予防医学研究所

広告代理事業・健康情報発信

(株)けんこうTV

健康食品・化粧品の通信販売

(株)エーエフシー

平成20.12～ (株)華舞

漢方医療用医薬品・一般医薬品の製造
 販売及びジェネリック医薬品の販売

平成19.6～ 本草製薬(株)

自然食品の小売・卸売

平成19.6～ (株)正直村

健康食品・自然食品・自然化粧品・医薬品・医薬
 部外品・一般食品の小売・卸売

平成20.12～ (株)AFCもりや
 (平成21.5社名変更)

■ 当社設立によりグループ会社化

■ M&Aによりグループ会社化

平成20年 12月 スーパーマーケット・ドラッグストア向け卸売販売事業一元化

平成21年 4月 4月完成の(株)けんこうTV社屋1Fに、チェーン展開に向けたアンテナショップとしてAFCショップ正直村1号店オープン

平成21年 5月 (株)モリヤを(株)AFCもりやへ社名変更

平成21年 6月 AFCもりや浦和物流倉庫を静岡物流センターへ移設



AMSグループ事業計画

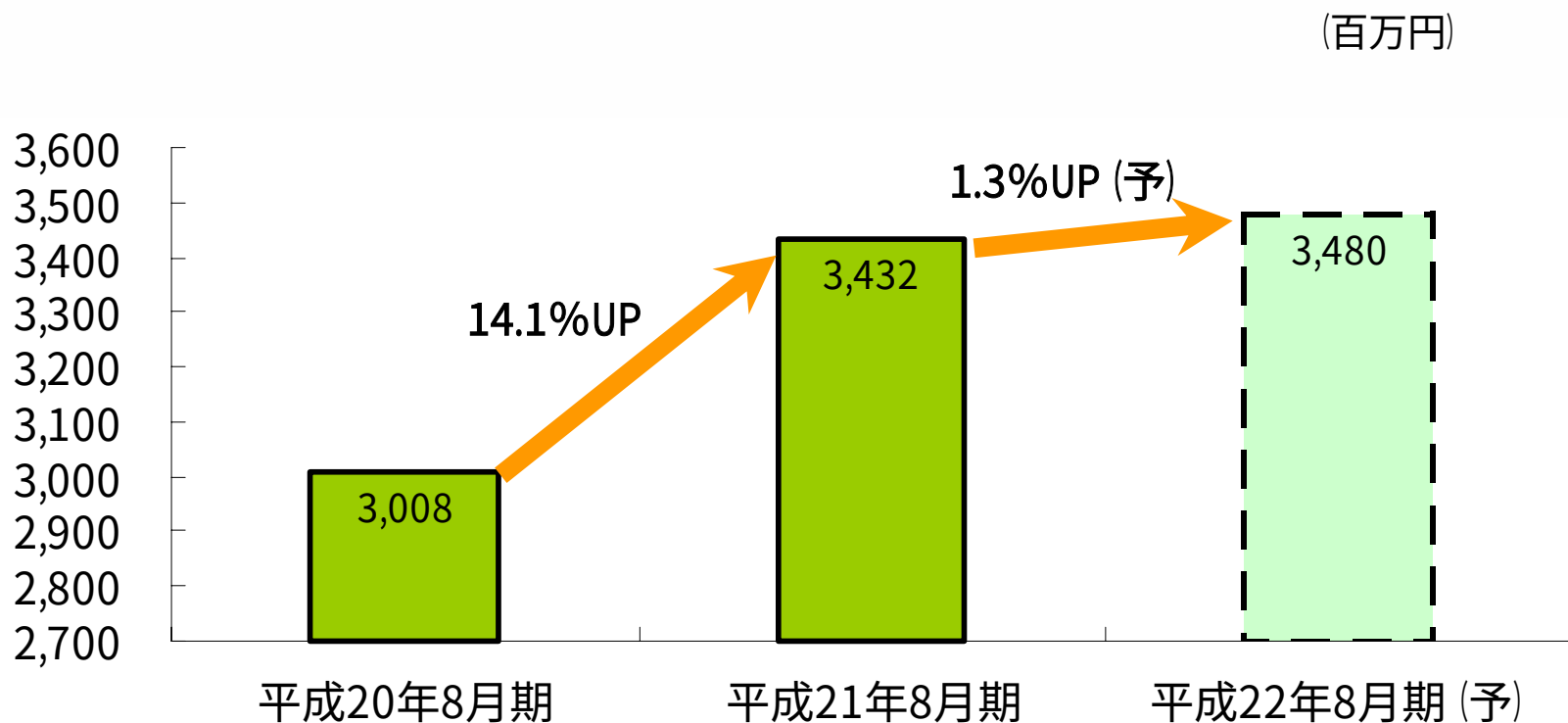
指針：情熱



第30期 (平成22年8月期)



アムスライフサイエンス OEM事業部売上高推移





アムスライフサイエンス OEM事業部報告・展開

平成21年8月期

◆地道な営業

一時的な流行に左右されない
ベーシックなアイテムを販売する
顧客に注力

◆健康補助食品GMP 取り組みの浸透

GMPの取り組みが工場内に浸透
してきており、大手企業の査察等
で高い評価を受けている

平成22年8月期

◆サプリメント市場における成長
商品を引き続き積極的に販売

◆大口取引先の獲得を狙う

◆中期的に最新設備の
増強を図る



アムス第3工場建設計画



アムスライフサイエンス OEM事業部資料

	平成20年8月期	平成21年8月期	平成22年8月期 (予)
取引先	308社	302社	372社
既存 (売上比)	240社 (93.3%)	249社 (94.0%)	302社 (90.0%)
新規 (売上比)	68社 (6.7%)	53社 (6.0%)	70社 (10.0%)

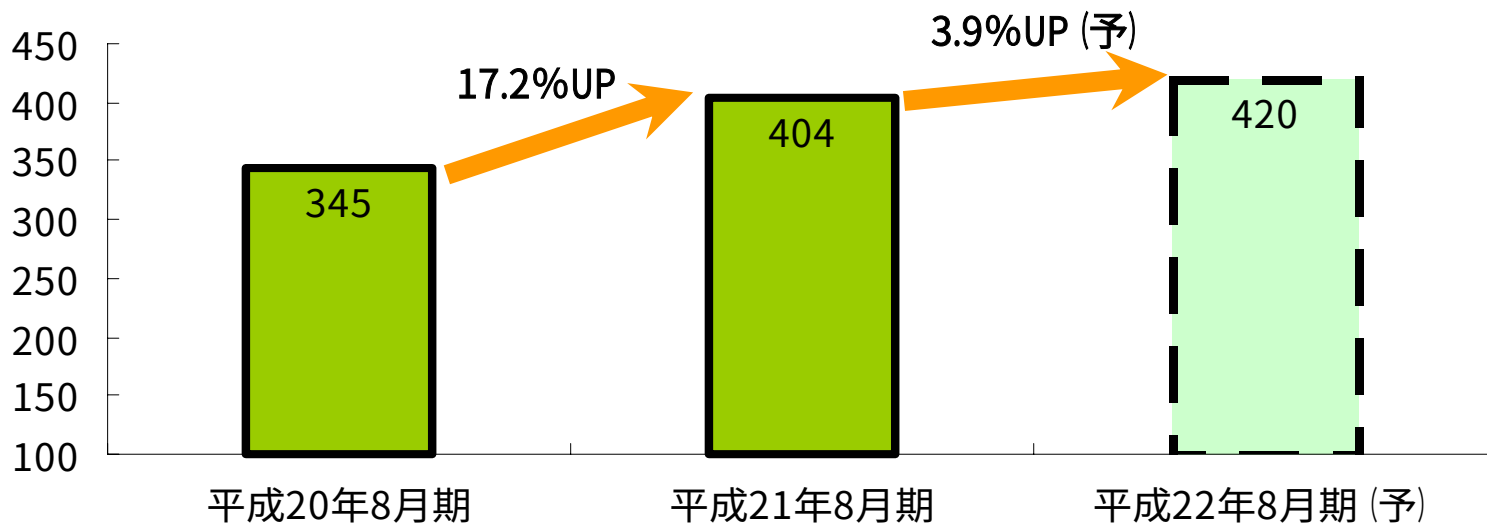
設備状況:

平成20年 9月	旧(株)華舞工場の移転により、当該工場所有の既存設備取得 造粒行程能力約70%UP及びスティック包装工程約50%UP 分包行程及び粉末袋充填工程についても生産能力増加
平成20年11月	小ロット用錠剤機から大ロット用錠剤機械への更新一台実施
平成21年11月	新規スティック充填包装機導入予定 (生産能力1.5倍へ)



アムスライフサイエンス 国際部売上高推移

(百万円)





アムスライフサイエンス 国際部事業報告・展開

平成21年8月期

- ◆顧客に対し、為替に係る値引をしても、なお24%の粗利益確保
- ◆シンガポールにおいて100店舗のドラッグストアへの拡販成功によりAFC商品の売上順伸
- ◆シンガポールにおいてOEM商品の追加獲得
- ◆フィリピンにおいてOEMの新規受注獲得

平成22年8月期

- ◆中国展開
台湾ユーセン社との合併による上海会社設立、本格始動
- ◆海外展示会への参加
認知度向上を狙う



アムスライフサイエンス 国際部事業展開

中国へ進出！

中国における健康食品市場規模

平成18年	平成22年
5千億円	1.5兆円

出典：消費日報

上海会社設立の背景：

現在中国では、経済の発展に伴う人々の所得の増加により食生活の多様化・欧米化・高級化にシフトしており、食の豊かさの副作用として、過食による肥満や糖尿病などの慢性疾患が急激に増加している。

この状況の中、富裕層や若い女性を中心に健康に対する意識が高まり、健康食品に人気が集まっている。一方、中国政府は急速に高齢化が進んでいる現状を鑑みて保健医療会計の圧迫や将来の破たんを懸念して対処医療に加えてよりコストの安い予防医療に注目するようになった。

安全性の観点から中国国内メーカーの商品よりも海外、特に消費者の信頼を得ている日本製のものが売れることが予想される。



アムスライフサイエンス 国際部事業展開

上海会社設立進捗状況

社名登録	シャンハイイーエフシーショウボウユウゲンコウシ 上海亜沛希商貿有限公司
提携先	台湾ユーセン社 (当社出資率9%) AFCブランドを、台湾における健康食品トップブランドに押し上げた実力を持ち、販売ノウハウを熟知
資本金	30百万円 (予定)
出資割合	台湾ユーセン社: 55% (16.5百万円) 当社: 45% (13.5百万円)
役員	リョウ シュンキチ コウ センメイ テイ シュン 廖 俊吉 (ユーセン社)、黄 宣銘 (ユーセン社)、邸 峻 (AMS)
監査役	田村 茂樹 (AMS)
本格始動予定日	平成22年 1月

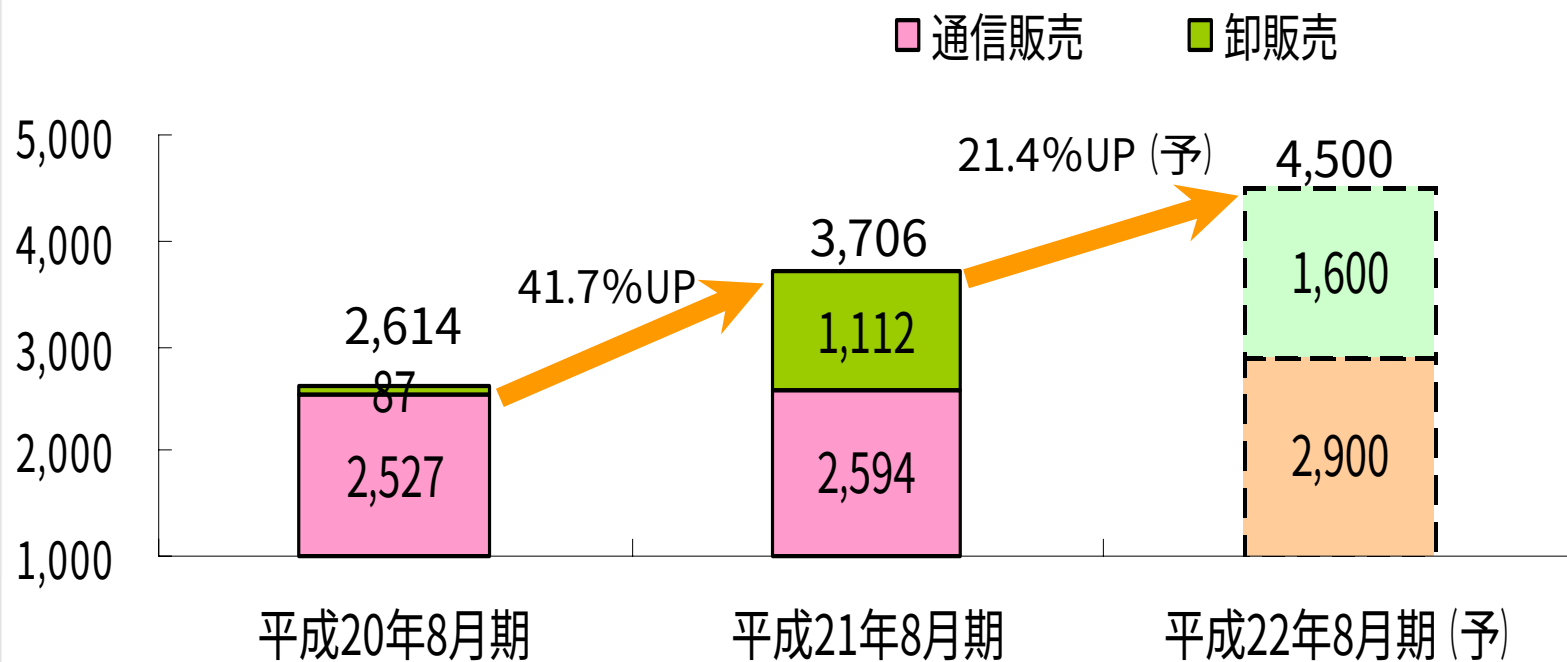
平成22年1月から12月までの販売目標: 9,000万円





エーエフシー 通信販売・卸販売売上高推移

(百万円)





エーエフシー 通信販売部門事業報告・展開

平成21年8月期

- ◆高級化粧品新ブランド
「Beau Avec」立ち上げにより
化粧品売上アップ
- ◆テレビショッピング本格参入
タイムリーに消費者ニーズに即した
商品をタイムリーに案内し「エーエフ
シー」ブランドの知名度及び売上
アップ

平成22年8月期

- ◆知名度アップ・化粧品の拡販
TVショッピングや広告を積極的に
展開
- ◆広告効率の改善
高レスポンス率の媒体への切り替え
- ◆自社製品の拡販
雑貨→サプリメント中心の
TVショッピング番組へ
- ◆AFCブランドの拡販
グループ会社でのAFC商品取り扱い
を拡大



エーエフシー サプリメント上位3品目

1位

売上高: 217百万円/年
90日シリーズ
筋骨草エキス & コンドロイチン配合
グルコサミン

筋骨草エキス & コンドロイチン配合で体感力のある商品



2位

売上高: 119百万円/年
90日シリーズ
こだわりのブルーベリー & ルテイン

アントシアニン高配合の
体感力アップを追求した
商品



3位

売上高: 92万円/年
90日シリーズ
ピュアマカ

素材にこだわり、無農薬
栽培のマカを原料とした
商品



体感力

のある商品が上位を占めている。



エーエフシー 化粧品

アンチエイジング化粧品: BEAU AVECシリーズ

平成21年9月 アスタEGF石けん新発売



平成21年8月期化粧品部門売上実績: 339百万円

約20%UP

平成22年8月期化粧品部門目標売上: 400百万円を見込む



エーエフシー 卸販売部門事業報告・展開

平成21年8月期

- ◆(株)華舞営業部との合併、また、本草製薬(株)ヘルスケア事業部の一部をエーエフシーに統合
営業力を強化し、業務の一元化による経費削減
- ◆テレビショッピング番組向けの販路を獲得
- ◆滞留在庫の大幅な改善

AFC & 華舞
初の共通ブランド商品
「華コラ椿」 **新発売**



通販にて人気の商品の
500円シリーズ版
「ローズカプセル」
平成22年2月発売



25種が凝縮
「25品目の野菜 & 果実粒」
平成22年2月発売



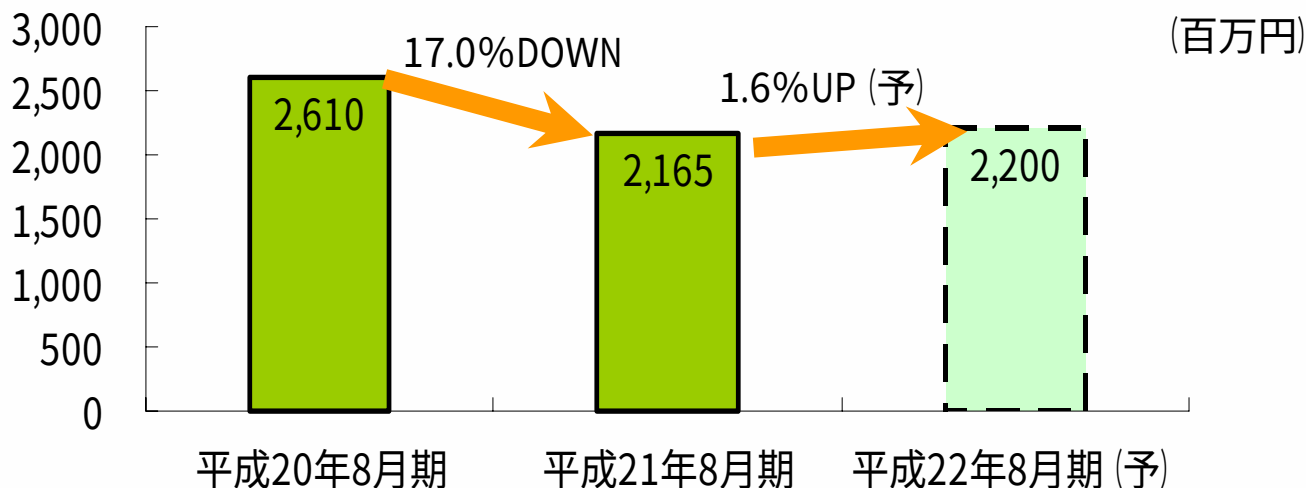
平成22年8月期

- ◆通信販売事業部と連携し、
TVショッピング用商品企画及び
製品開発を、通信販売事業部と
連携して行う
- ◆グループ内における共通ブランド
商品の開発

華舞がコラーゲンのパイオニアと
なった商品
「華舞の食べるコラーゲン」



売上高推移



平成21年8月期

◆エーエフシー卸事業部への販売
ルートの一部移管

◆新製品の導入の遅れ

平成22年8月期

◆医療機関 (病院・診療所) への
積極極的新規開拓
患者の医療費負担軽減のため低価格を訴求

◆茶剤・サプリメント等の新製品開発に注力
◆医療機関へのメディカルサプリの
積極的販売

こんなに違う！

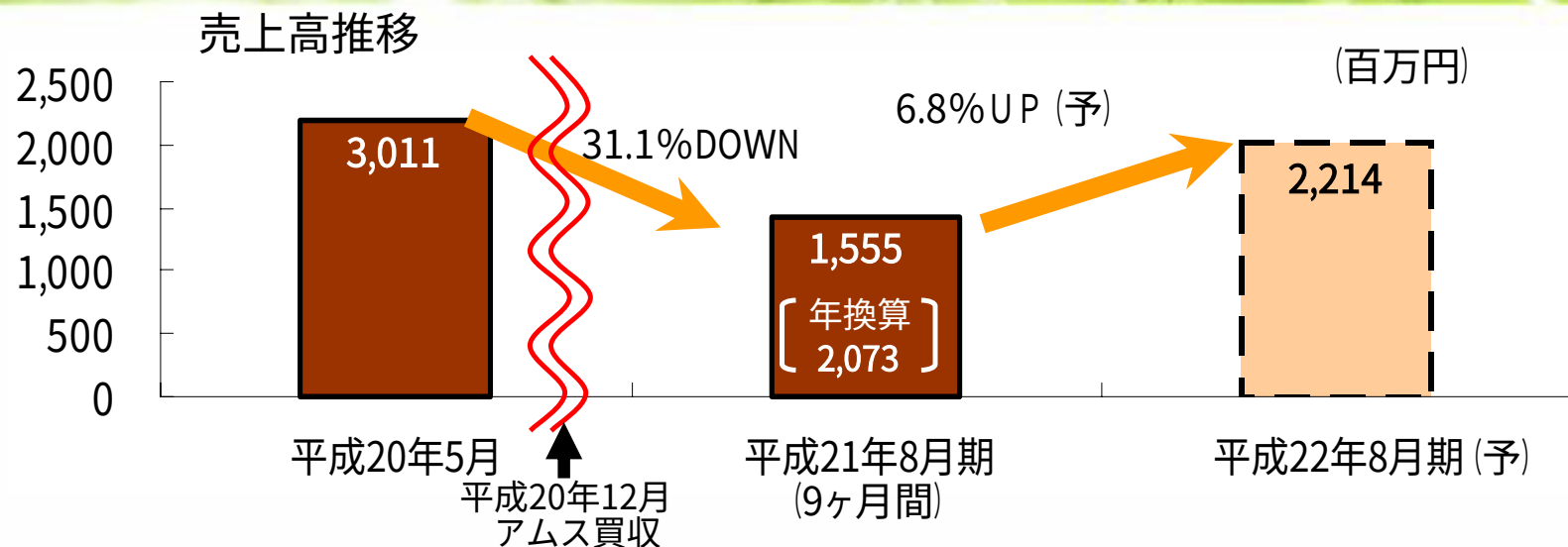
ご存じですか？ 薬の値段

(単位：円)

	1ヶ月当りの薬価			1年当りの薬価		
	本草	T社	K社	本草	T社	K社
補中益気湯	2,680	6,140	5,670	32,160	73,680	68,040
	差額	+3,460	+2,990	差額	+41,580	+35,910
六君子湯	2,180	4,970	4,210	26,160	59,640	50,520
	差額	+2,790	+2,030	差額	+33,480	+24,354
四物湯	1,150	2,140	1,940	13,800	25,680	23,280
	差額	+990	+797	差額	+11,880	+9,558
八味地黄丸	1,280	2,610	2,300	15,360	31,320	27,600
	差額	+1,330	+1,020	差額	+15,960	+2,240



AFC もりや事業報告・展開



平成21年8月期

- ◆当社グループ物流センターへの統合による物流コストの削減
- ◆百貨店業界全体における販売不振と集客力低下 (18カ月連続対前年割れ)

平成22年8月期

- ◆新規店舗の積極的な展開による販売の増加
- ◆新AFCもりやブランドの百貨店戦略商品の導入と販売商品構成の見直しによる利益率の向上



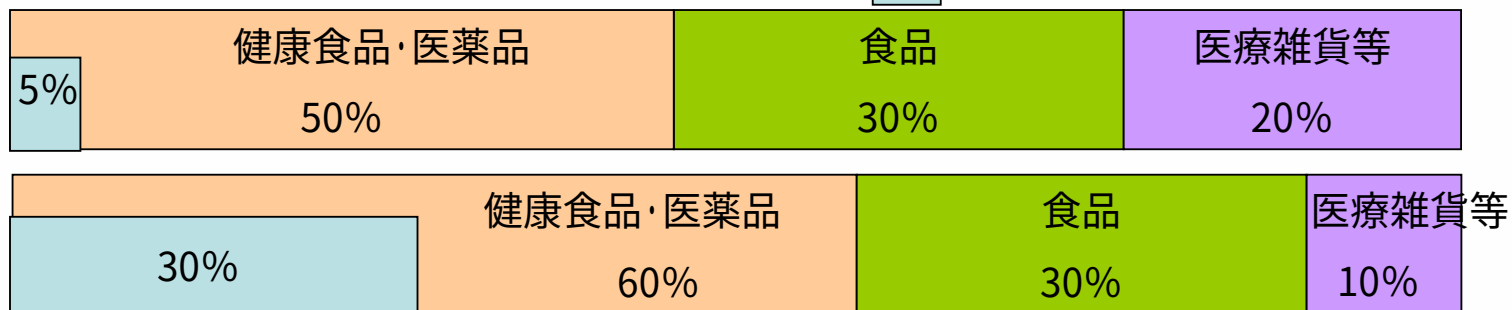
AFC もりや 事業展開

平成22年8月期販売品種構成比及びグループ製造品比率の目標

- ◆利益率の高い健康食品の比率を高める
- ◆健康食品中の当社グループ製造品の比率を高める

売上品種構成平成21年8月

当社グループ製造品占有比率



売上品種構成平成22年8月 (予)

物流センター統合による効果：年間54百万円の経費削減

平成21年6月に実施したエーエフシーもりや物流倉庫の統合廃止による合理化で、維持コスト年54百万円の削減が可能となった



AFC もりや・正直村100店計画ー販売の拡大

(平成21年11月現在AFCもりや・正直村合わせて80店 (商品取扱売場4店含む))

AFC もりや

(全64店)

[平成21年 9月オープン]

- ◆天満屋 ・岡山本店
・広島八丁堀店
・広島アルパーク店
・福山店



[平成21年11月オープン予定]

- ◆うすい百貨店 (郡山)



うすい百貨店

- ◆大丸 心斎橋店



大丸

[平成21年10月オープン]

- ◆遠鉄百貨店(浜松)



遠鉄百貨店

- ◆そごう ・神戸店
・徳島店
・広島店



そごう神戸店

- ◆阪神百貨店
(阪神梅田本店)



阪神百貨店

正直村

(全16店)

[平成21年 9月]

- ◆大和百貨店 ・香林坊店 ・新潟店 ・長岡店
・高岡店 ・小松店 ・上越店
・富山店



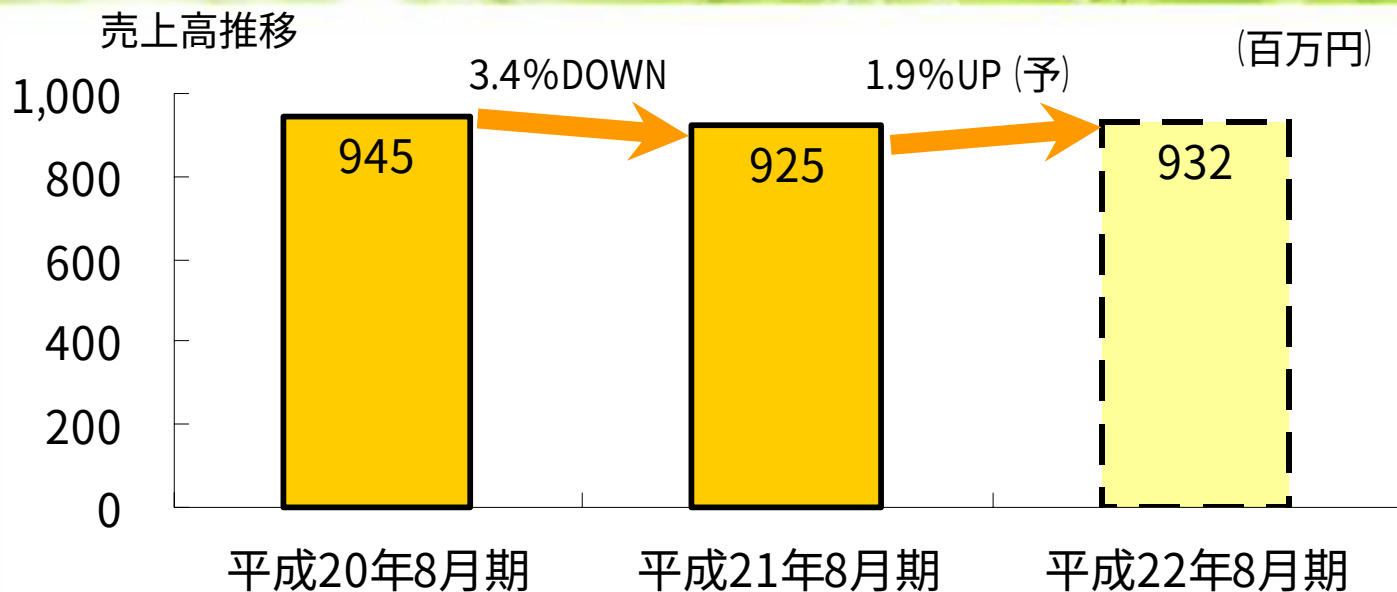
高岡店



香林坊店



正直村事業報告・営業展開



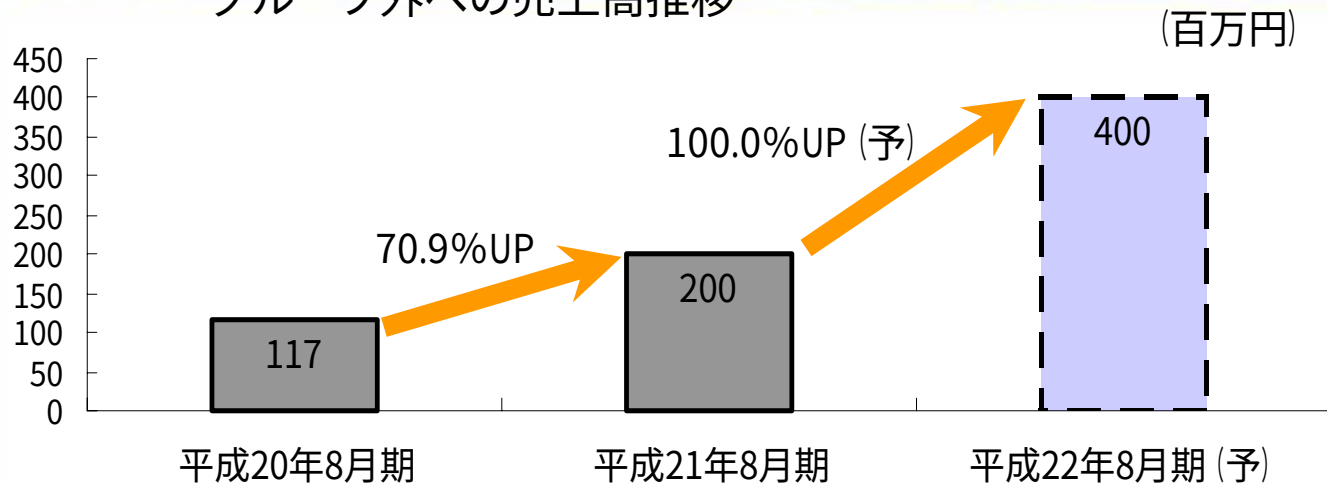
- 平成21年8月期
- ◆人的資源の不足
 - ◆百貨店業界全体における販売不振
集客力低下

- 平成22年8月期
- ◆AFCもりやと連携し、健康食品と自然食品を融合したモデル店としてオープンし、確立を目指す
 - ◆けんこうTVとの連携により正直村の認知度アップ及びTVショッピングによる産直販売の強化を図る
 - ◆人材の確保に努める



けんこうTV事業報告・展開

グループ外への売上高推移



平成21年8月期

◆自社スタジオ完成

TVショッピングへの本格参入

◆グループ外企業からの受注・制作
テレビショッピング用番組の制作を開始。
十数社の商品を収録し、一部ヒット商品
も生み出した

平成22年8月期

◆グループ外企業からのテレビ
ショッピング番組制作受注の獲得を
強化

◆放送枠販売事業

テレビ通販を気軽に試すことができる
プランを企画・販売

◆地元の局とタイアップし、自社スタジオ
からの生放送での番組配信を行い
レスポンス率を上げる



けんこうTVー健康情報発信基地

平成21年4月 24時間生放送可能な自社スタジオ完成

番組の制作から編集、出演者の確保まで一元管理するため、低コストでのテレビ通販参入の提案が可能

グループ各社と連携することで、通信販売や物流のノウハウに関するコンサルティングが可能



テレビ通販参入を検討している地元企業への積極的な営業展開を行う

【グループ外企業取引先数】

平成21年8月期	平成22年8月期 (目標)
15社	50社

自社スタジオ・編集設備を活かすべく、テレビメディアをフルに活用し、
全国に健康情報を発信



日本予防医学研究所

中国 康緑 (カンヨン) 薬業の概要

従業員数: 5,000名

事業内容: 医療用漢方・医薬品・健康食品の製造・販売

資本金: 3億2千万元
(44億8千万円)

売上高: 25億元 (2008年)
(350億円)



康緑薬業研究開発センター (研究員146名)

ポスドク 2名、博士、10名、

修士 47名、大学卒 87名



中国 康緑 (カンヨン) 薬業との業務提携進捗状況

業務提携の背景：

日本では、現在医療用又は一般医薬品に用いることができないが、中国医薬品の開発に用いられている多くの素材に、特定保健用食品開発に最も適正を有する素材が存在し、効能効果及び安全性も検証されている。

OTCを含む製造承認取得及び漢方医薬品市場への参入を進めていくため、康緑薬業が培った研究開発能力を背景に双方の技術交流を活性化させ、当社の技術水準を具体的に向上させるべく業務提携を行い、本格稼働に向けて準備を進めている。





AMSグループ次期見通し



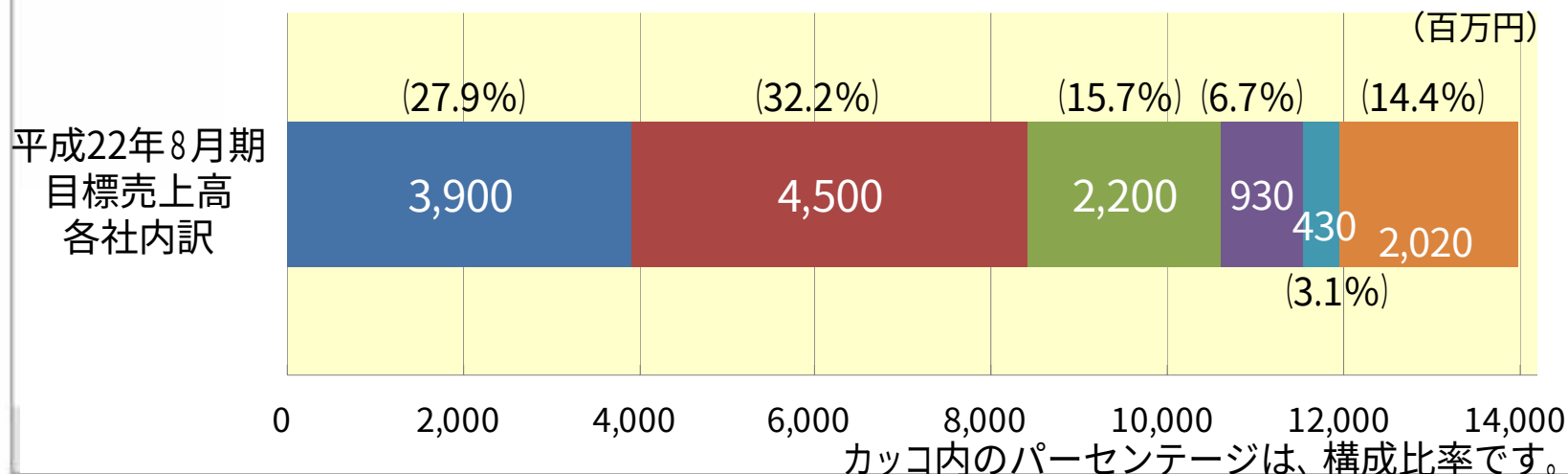
第30期 (平成22年8月期)

平成22年8月期 (連結)

(単位：百万円)

	平成20年8月期 実績	平成21年8月期 実績	平成22年8月期 通期(予)	対前期 増減率
売上高	10,221	12,813	14,000	9.3%
営業利益	849	737	1,050	42.5%
経常利益	929	696	1,000	43.7%
当期純利益	354	129	550	326.4%

■ AMS
 ■ AFC
 ■ 本草
 ■ 正直村
 ■ けんこうTV
 ■ AFCもりや



アムスグループ将来ビジョン

- 新しいデジタル・多チャンネル時代に挑戦するけんこうTVが、**独自のチャンネルとスタジオ**を持つことにより、健康情報を全国に向けて発信し、国民の健康を総合的にプロデュース ➡ **販売チャネルの増強**
- 全国のテレビ局と連携して、双方向デジタル放送を利用したテレビショッピングシステムの確立と、AFC製品の販売及びAFCを有名ブランドとして確立させる
- 「自然食品・健康食品」のトップブランドとしてAFCもりや・正直村百貨店100店出店を目指すとともに、百貨店の持つ優良顧客をターゲットとしたDM／テレビショッピング戦略の強化も図る
- グループ力を結集して臨む、ドラッグストア・スーパーマーケットルートへの販売展開・小売の強化
- 台湾・シンガポールに次ぎ、中国進出によるアジアにおける健康食品ナンバーワンブランドの確立